

				科目コード	119
科目名	助産学実習Ⅲ (Clinical Practice in Midwifery Ⅲ)			選択区分	必修
単位数	1単位	時間数	45時間	学期	通年
担当教員	今村 朋子、井上 明子			区分	助産学実践領域
実習目的	助産所における自然出産に向けた援助や自立した助産師の実践を学ぶとともに、施設の特徴をふまえた助産管理や地域母子保健活動など、地域における助産師の役割について発展的に考える能力を養う。				
実習目標	1 妊娠期を中心とした助産実践の能力を身につけるとともに、対象理解や自然出産の意義、開業助産師の自立した実践について考察を深める。 2 助産所における管理・運営の実際や、助産師による地域母子保健活動について理解できる。				

実習内容	
<p>1. 実習期間 実習内容に応じて8～9月と11～1月の期間の中で不定期に実施する。 詳細は実習要綱を参照 ※事例の状況により、2月以降の補習期間に実習を行う場合がある。</p> <p>2. 実習時間 ・助産所見学実習 9:00～17:00 (状況により変更) ・継続受け持ち実習 妊娠期：継続事例の健診状況に応じて実習を行う。(産後健診も同様) 分娩期：24時間体制で実習を行う。 産褥期：入院中の実習は、8:00～16:00とする。</p> <p>3. 実習場所 (一社)愛媛助産師会 まつやま助産院 ※助産所の関連施設である嘱託医療機関、事例の自宅などの場で実習を行う場合がある。</p> <p>4. 実習展開 詳細は実習要綱を参照。</p>	
成績評価方法	実習評価表(100点)の項目について、実習内容および到達度、実習態度を点数化し評価する。
教科書	
参考図書等	
備考	